

杉本ひろふみ 後援会だより

VOL.1

【発行・編集】

杉本ひろふみ後援会

〒473-0911

豊田市本町高根23番地10

TEL:0565-54-4537

FAX:0565-54-4539

後援会報の発刊にあたって

新年あけましておめでとうございます。

日ごろから議員活動と後援会活動に対し、格別なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

たいへん遅くなりましたが、この度後援会の会報を発行させて頂くことになりました。今後は議会活動を中心に、年間2回発行したいと考えています。

早いもので平成27年4月に議会に送り出して頂いてから、2年間があっという間に過ぎ去ろうとしています。

ちょうどこの2年間は、豊田市が平成29年度から取組む次期8次総合計画の策定期間でありました。計画のもとになる背景は、従来の総合計画にはなかったリア新幹線開通後の社会の大きな変化や、人口減少が始まる2030年以降の豊田市を想定したものであり、今後の豊田市政の大きな流れを勉強する貴重な機会となりました。

今後は初心と謙虚さを忘れることなく、みなさんから多くのご意見とご指導を頂きながらまちづくりに取り組んでいきますので、よろしくお願いいたします。

豊田市議会議員 杉本ひろふみ



杉本ひろふみ後援会の会長に久野照之さん（本町地区）が、平成28年9月24日の後援会支部長会議にて新しく選任されました。

新後援会長就任のごあいさつ

このたび、岡田繁隆会長の後を引き継ぎ、後援会長を拝命いたしました。

後援会の役員としての経験はありませんが、竹村地区、土橋地区の杉本市議をご支援頂けるみなさん方とともに、後援会活動を盛り上げていこうと考えています。

今後とも杉本市議の地域での活動及び、後援会活動に対し、ご理解とご協力を賜りますように、よろしくお願いいたします。



本町地区
久野照之

後援会長退任のごあいさつ

岩月前市議会議員の退任に伴い、新任の杉本市議を地域代表として市政の場に送り出すべく、後援会活動に取り組んでまいりました。

地域の暖かいご支援を頂き、無事に責任を果たせたことに、ホッとしております。

引き続き杉本ひろふみ後援会の活動にご理解とご協力をお願いするとともに、今までのみなさま方のご協力に対し、心からお礼申し上げます。



竹中地区
岡田繁隆

初めての

議会報告 ①

平成27年9月定例会

一般
質問

1. 主なテーマ 農ライフ創生センターの10年の取り組みと新規就農者への支援
2. 主な質問

より高付加価値な施設園芸について、農ライフ創生センターを中核に、豊田市とJAあいち豊田が共同での栽培技術の確立・人材育成ができれば近代的な農業の振興につながると思いますが、今後の取り組みについて質問しました。



3. 対する答弁（産業部 原田部長）

施設園芸は、企業参入も増えており、農業経営の安定や本市の特産品作りの面から注目している。栽培品種によって収支や技術の面でメリット・デメリットがあるため、JAと共にこの地域に最も適する施設園芸について研究を始めた。「担い手の確保」「栽培技術の確立」は、農ライフ創生センターの活用も視野に入れて検討していく。

議会報告 ②

平成28年3月定例会

一般
質問

1. 主なテーマ 公立こども園の円滑な民間移管
2. 主な質問

第2次豊田市立こども園民間移管計画では、南部地域の公立こども園の6園が民間に移管され、その一番手として、竜神こども園が平成30年に移管されることになりました。28年度からその準備に入ることになりましたが、公立から民間法人へと円滑な移管方法について質問しました。



3. 対する答弁（子供部 成瀬部長）

大切なことはその民間法人がそれまで公立こども園で培ってきた地域活動を実践できるか、そのための保護者や地域との信頼関係を構築できるかだと考える。移管前年度29年度に一年間、市の職員と法人の職員の共同保育を実施し、保育の内容だけでなく、一年を通しての行事、保護者や地域との関係など、しっかりと引き継いでいく。

議会報告 ③

平成28年9月定例会

一般
質問

1. 主なテーマ 高齢者・障がい者の権利擁護の一元的な支援策
2. 主な質問

高齢者や障がい者の権利擁護については、成年後見制度が果たす役割は大きいですが、その制度の普及と成年後見人の活動の支援には、一日も早い支援センターの設置が必要と考えます。3月議会で29年度開設に向けて準備が進められていると答弁がありましたが、現在の進捗状況について質問しました。



3. 対する答弁（産業部 原田部長）

市民後見人とは、親族以外の市民による後見人のことであり、まだ全国的にも普及していないが、地域における支え合いの思いや熱意を生かし、専門家だけの支援ではなく、市民感覚を活かした細やかな後見活動が期待できると考えている。平成29年度のできる限り早い段階での成年後見支援センター設置を目指し、準備を進めている。

議会報告 ④

12月定例会(豊田市第8次総合計画が決定)



◎ 第8次総合計画における土橋・竹村地区の土地利用計画

<名鉄三河線>

豊田市は今回の総合計画の中で、「鉄道による名古屋とのアクセス強化」をあげ、名鉄三河線の高架化・複線化による交通基盤の強化が一つの大きな柱になっています。

<土橋地区>

土橋地区は、名鉄土橋駅を中心に区画整理事業がすすめられ、「市街地ゾーン」のなかでも、「市街地高度化地区」として、日常生活を支える上で、必要な都市機能の誘導と居住人口の維持を図られる地域として整備されていきます。



<竹村地区>

竹村地区は、名鉄竹村駅の東側は「市街地ゾーン」西側は「都市・田園共生ゾーン」に位置づけられています。「都市・田園共生ゾーン」は、農業基盤の整備等による優良農地の保全が基本で、住居としての土地利用と農業を守る土地利用との共生を図る区域です。

今回の総合計画の中では、重点とされる具体的な施策の指定はなく、土地利用の観点から見ると現状を維持することになっています。しっかりと竹村の将来の土地利用について検討して、提言していく必要があります。





Topics トピックス

●各種証明書のコンビニ交付始まる

平成28年10月より豊田市の各種証明書の発行が、コンビニの多機能端末で、できるようになりました。

利用にはマイナンバーカードが必要になります。住民票や戸籍謄本、印鑑証明等で、1回150円です。

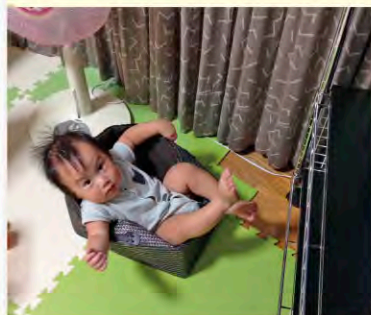


●もしものときの

救急・育児コールセンター開設

急病のときや子育てで悩んでしまったとき、24時間体制で相談できるコールセンターが開設されました。

相談には現場経験が豊富な、看護師、医師のほか、保健士等が対応します。



◆電話番号◆

0120-799192
なやまえにきゅうきゅういくじ

お気軽に
ご相談
ください！



竹村駅周辺を考える会発足



竹村駅周辺を今後どのようにしていくのか。東側は、朝晩は送迎の車両であふれかえっています。また、西側の農地は、将来的にどのように活用していくのか。

8月28日、竹村駅周辺をみんなで考えていこうと、「竹村駅周辺を考える会」が発足しました。

会長には星野 鈞さんが(竹上)委員の互選により選出され、12月11日(日)には第1回の会合が開かれ、岩月寿先生から竹村駅周辺の基盤整備の歴史を勉強しました。(写真上)

Snapshot スナップショット



7月25日(月)全国少年消防クラブ交流大会に参加する選手を激励に竜神中学校に行きました。全国大会では見事に念願の優勝してくれました。



編集後記

尊敬する地域の先輩から、地域の代表者として、「夢」を語れとアドバイスを受けました。しかし周りを見れば暗くなるような話題ばかり。豊田市は、2030年に人口のピークを迎え、その後は人口が減少していくという。税金をみても法人市民税の国有化と地方交付税合併特例の終了で、今年度に比較して5年後には200億円の減収になるという。

それでもこれから羽ばたいていく子供たちが、胸を張って「ふるさととは竜神」と言ってもらえるような、まちづくりに一步一步取り組んでいきたい。みなさんのご協力をお願いいたします。



お問い合わせ先

ご意見・お問い合わせは、右記よりお願いいたします。皆様より頂いた貴重なご意見は、今後の活動に活かしてまいります。



杉本ひろふみ後援会事務所

〒473-0911 豊田市本町高根23番地10
TEL / FAX : 0565-54-4537